

# 自 己 評 価 表

学校名 愛媛県立宇和島水産高等学校  
 学校番号 45

教育方針	人格の完成を目指し、平和な国家及び社会の形成者としての普遍的な資質を養うとともに、我が国の水産業・海洋業界を進歩発展させるために必要な専門的な知識と技術を習得させ、水産人・海洋人として国家社会に貢献する有為な技術者を育成する。	重点目標	1 我が国水産業・海洋業の産業的使命を自覚させ、国際感覚を持った水産人・海洋人としての資質と実践力を育成する。 2 水産人・海洋人として必要な自律・協同及び勤労の精神を培うとともに、時代に適応した知識・技能を身に付けたスペシャリストを育成する。 3 実践体験を通して学習意欲を喚起し、問題解決能力や創造性の育成に努め、自主的に研究する態度を養う。 4 一人一人の個性に応じた指導を心掛けるとともに、人権意識の向上と豊かな人間性の育成に努める。 5 地域社会との連携を深め、水産・海洋教育の振興に努める。
------	---	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	学習の習慣化	一日2時間以上の家庭学習を目指す。	D	平日は30分、考查中で2時間。	資格取得や放課後の補習を呼び水にして、家庭学習の充実を図らせる。
	基礎学力の充実	校内漢字テスト・英単語テストにおける80点以上の生徒の割合40%以上を目指す。	D	9回の実施で、漢字が3回、英単語は1回しか達成できなかった。	テスト結果を家庭に連絡することを継続し、意欲を高める指導に更に努める。また、「計算力テスト」を新たに実施する。
	授業の工夫改善	分かる授業を実践する。	B	昨年度より、分かる授業の実施に努めた教員が増えた。	授業研究等を通し、更に工夫改善に努める。
	考える力の育成	年間5冊以上の本を読む生徒100%を目指す。	D	5冊以上が27%、3冊以上が46%。	共通理解のもと「朝読書」の充実に努める。また、図書の購入や紹介、掲示等を工夫し読書に対する興味を喚起する。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	1か年皆勤者、各学年50%以上を目指す。	B	各学年40%前後であった。	欠席・欠課の多い生徒の指導方法を工夫する。
		身だしなみ指導での再指導者数、各学年5名以下を目指す。	B	各学年複数人数が指導を受けた。	規範意識を高める指導の充実を図る。
	健全な心身の育成	特別活動や個人面接等を通して、気力・体力・人権意識を養い、学校生活の充実度100%を目指す。	B	学校行事の積極的な参加や進路に関する面接はできた。	部活動の活発化やこまめな面接指導の実施、人権意識・命の大切さについて日頃から伝えていく。
	奉仕精神の育成	ボランティア活動をする生徒100%を目指す。	A	各学年・部活動等で実施できた。	継続する。
	安全教育の徹底	登下校のマナーを徹底し、登下校時の事故件数ゼロを目指す。	B	自転車の不備や、マナーの悪い生徒が時々いた。	街頭や校門指導の継続、マナー向上啓発の充実、定期的な自転車整備の確認を行う。
進路指導	進学指導の充実	進学希望者の進学率100%を目指す。	B	99.5%	校外模試の活用と個別指導による基礎学力の向上により、進学指導の更なる充実を図る。
		水産・海洋系大学合格者数5人以上を目指す。	B	3名	
	就職指導の充実	就職希望者の就職率100%を目指す。	B	91.3%	校外模試の活用と新職場開拓等により就職指導の更なる充実を図る。
		就職希望者の水産・海洋系分野への就職率80%以上を目指す。	B	66.7%	
	資格等取得者の増加	資格試験等に積極的に取り組ませ、一人1資格以上の取得を目指す。	B	93.5%	資格等の情報を生徒や保護者に伝え、意識を啓発する。

\*評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。